

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民・企業・大学等交流事業		
事業担当	企画部 企画課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'03	③〈交流〉 ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる	
	'01	1 学術・文化・スポーツなどを通じた市民の交流活動を推進する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 市民団体等】		
	目的・目標		事業の概要
市民、企業、大学などが相互に発展し、心豊かな地域社会となるよう、それぞれがもつ知的・人的資源が活用され、相互の交流が活発に行われています。		市民、企業、大学などの交流を促進するため、文化・生涯学習、スポーツ、福祉、環境、観光などの各分野における交流事業の充実を図ります。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	交流事業数				単位	事業
	説明・算定式	市民・大学交流委員会による交流事業数					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	10	10	8	9		
	実績	10	10	9	9		
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	交流事業参加者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	16600	16650	8450	8450		
	実績	41982	31970	7704	4721		
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標						
	実績						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民ニーズ ■ 事業目的の達成状況 ■ 市の関与の必要性 □ その他 	市民と大学との交流事業を実施するに当たり、平塚市民・大学交流委員会の組織は必要なものであり、その中で本市が調整することによって、協働による事業が実施されています。	● 高 ○ 低
有効性	<ul style="list-style-type: none"> □ 上位施策への貢献 ■ 市民満足度を高める方策 ■ 継続による成果向上の可能性 □ その他 	事業計画・実施においては、平塚市民・大学交流委員会の5つの推進部会により、協議、実施しており、市民ニーズを取り込んだ満足度の高い事業です。	● 高 ○ 低	
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の目的、対象、内容 □ 受益者負担、補助額 □ 業務の執行体制(人員配置、業務分担) □ その他 	5つの推進部会により、9事業が実施され、参加者も多く妥当性は高いと判断します。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> □ 業務プロセス改善による効率化の方策 □ コスト削減の可能性 ■ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) ■ その他 	市民と大学との交流事業の実施に当たっては、経費節減に努めます。	○ 高 ● 中 ○ 低	

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額	平成22年度 決算額
事業内容		市民・大学交流委員会 による交流事業など	市民・大学交流委員会 による交流事業など	市民・大学交流委員会 による交流事業など	市民・大学交流委員会 による交流事業、神大と の交流20周年記念事業
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	2,215	2,030	1,705	2,365
事業費 (A)		2,215	2,030	1,705	2,365
執行率 (%)		100.00	91.65	76.98	80.50
内訳	職員 (人)	0.60	0.60	0.50	0.60
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		5,035	5,035	4,178	4,956
フルコスト (A+B)		7,250	7,065	5,883	7,321

4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分	平成22年度事業分
進捗状況	遅れている理由	①: 予定どおり	①: 予定どおり	①: 予定どおり	①: 予定どおり
		-	-	-	-
主な取組と成果		平塚市民・大学交流委員会において、文化・生涯学習、産業、スポーツ、福祉、環境の5つの推進部会により、10事業を実施することを通じ、それぞれがもつ知的・人的資源が活用され、相互の交流が活発に行われた。	平塚市民・大学交流委員会の文化生涯学習、産業、スポーツ、福祉、環境の5つの推進部会により、10事業を実施し、相互の交流が活発に行われました。各事業が、大学の参加により活気あるものとなりました。	平塚市民・大学交流委員会の文化生涯学習、スポーツ、福祉、環境、観光の5つの推進部会により、9事業を実施し、相互の交流が活発に行われました。	平塚市民・大学交流委員会の文化生涯学習、スポーツ、福祉、環境、観光の5つの推進部会により9事業を実施し、途中、台風や東日本大震災で中止になったイベントはあったものの、相互の交流が活発に行われました。合わせて、神奈川大学との交流20周年を記念したサッカー教室や記念講演会など7事業を実施できました。
検証結果		A: 成果があがった	A: 成果があがった	A: 成果があがった	C: 十分に成果をあげることができなかった
		平成21年度への展開	平成22年度への展開	平成23年度への展開	平成24年度への展開
今後に向けた課題		市民、企業、大学等との交流を促進するに当たって、様々な団体、東海大学、神奈川大学、本市で組織された平塚市民・大学交流委員会は、事業促進母体として適しているが、事業内容についての見直しや新規事業の検討を行っていく必要がある。	市民、企業、大学等との交流を促進するに当たって、様々な団体、東海大学、神奈川大学、本市で組織された平塚市民・大学交流委員会は、事業促進母体として適しています。平成21年度から、産業推進部会事業を発展的に担当課事業とし、新たに観光推進部会を設置し、研究と実践を目的とした事業を展開します。	市民、企業、大学等との交流を促進するに当たって、様々な団体、東海大学、神奈川大学、本市で組織された平塚市民・大学交流委員会は、事業促進母体として適しています。平成21年度に新たに設置された観光推進部会では、研究と実践を目的とした事業を展開していきます。	平成21年度に新たに設置された観光推進部会について、今後いかに事業を展開させ、新たな観光資源の掘り起こし等を進めていくかが課題です。